



## 実用新案登録願 (L)

昭和55年9月13日

特許庁長官殿

## 1. 考案の名称

カベ トリツケソウチ  
壁パネル取付装置

## 2. 考案者

住 所 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番12号  
ナショナル住宅建材株式会社内  
氏 名 オオツカシゲカズ  
大塚繁一

## 3. 実用新案登録出願人

住 所 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番12号  
名 称 (467) ナショナル住宅建材株式会社  
代 表 者 山下茂 男

## 4. 代理人

住 所 大阪市東区京橋1丁目7番地  
大阪マーチャンダイズ・マートビル  
氏 名 (7617) 弁理士宮井咲夫

## 5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1	通
(2) 図面	1	通
(3) 委任状	1	通
(4) 願書副本	1	七種式査

55 132046

54510

本局

## 明細書

### 1. 考案の名称

壁パネル取付装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

壁パネルの下面に縦設され断面山形で下面を長手方向に開口した雌係合部材と、この雌係合部材に係入してその傾斜内面に密接する傾斜側面を両側端に有する断面山形で基礎のアンカーボルトにナット止めされる雄係合部材とを備えた壁パネル取付装置。

### 3. 考案の詳細な説明

この考案は壁パネル取付装置に関するものである。

従来の壁パネル取付装置は、基礎の天端に土台となる突条を縦設し、この突条に壁パネルの下棒下面に縦設した縦溝を係合させて壁パネルを支持するようになっていた。

そのため、突条への縦溝の係合がどうしてもあまりくなり、壁パネルががたついてその支持位置が安定せず、隣接し合う壁パネル間で壁面が不揃い

となり、壁パネルの建込み施工の仕上りが悪くなるという欠点を有していた。

したがって、この考案の目的は、壁パネルの建込みをその壁面が揃うように極めて簡単に行なうことのできる壁パネル取付装置を提供することである。

この考案の一実施例を第1図ないし第3図に示す。すなわち、この壁パネル取付装置は、下方に向け傾斜して拡開するよう形成した断面山形で下面を長手方向に開口した雌係合部材1を壁パネル2の下面に縦設する一方、前記雌係合部材1に係入してその傾斜内面1bに密接する傾斜側面3bを両側端に有する断面山形で上部を長手方向に開口3aした土台となる雄係合部材3を、その底面中央部に垂下形成した複数のカーボルト3cの穴4に基礎5の天端に突設されるアンカーボルト6を挿通してナット7締めすることにより基礎5に固定し、この雄係合部材3と前記雌係合部材1とを係合させることにより基礎5の上に壁パネル2を支持固定するようにしたものである。

前記雌係合鋸部材1の下面の開口1aには一对の抜止用内向フランジ1c.1cを互に対向するよう形成している。

このように構成したため、壁パネル2の雌係合鋸部材1の端面を雄係合部材の端面に突き合わせて横方向に押すことにより、雄係合部材3を雌係合鋸部材1へ簡単に係入させることができ、雌係合鋸部材1の傾斜内面1bへの雄係合部材3の傾斜側面3bの密接により、がたつきなく相互の係合を行なわせることができ、各壁パネル2の支持位置を揃えその内側面を同一面に合わせることができる。

また、雌係合鋸部材1の抜止用内向フランジ1c.1cの存在により、雄係合部材3との係合が一層強固に行なわれ、基礎5への壁パネル2の支持を一層安定したものとすることができる。

なお、雌係合鋸部材1は可とう性素材で形成することにより、その抜止用内向フランジ1c.1cの弾性変形で雌係合鋸部材1を上方からの押圧により雄係合部材3に圧入して係合させることもで

きる。

雄係合部材8の底面に垂下形成したカーラー部8cは、その存在により雄係合部材1の抜止用内向フランジ1c, 1cを雄係合部材8の底面の下方に差し込むクリアランスをつくるが、この実施例のように雄係合部材8と一体的に形成する必要はなく、別部材としてもよい。

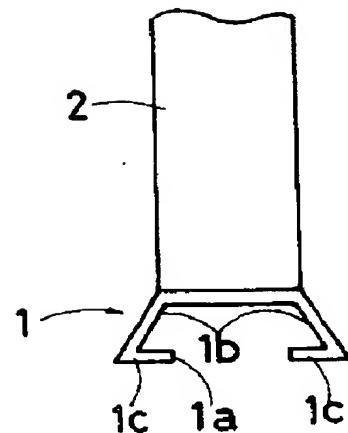
以上のように、この考案の壁パネル取付装置は、壁パネルの下面に縦設され断面山形で下面を長手万方向に開口した雄係合部材と、この雄係合部材に係入してその傾斜内面に密接する傾斜側面を両側端に有する断面山形で基礎のアンカーボルトにナット止めされる雄係合部材とを備えたものであるため、雄係合部材の内面への雄係合部材の密接係合により、基礎上への壁パネルの支持をがたつきなく安定した状態で行なうことができ、基礎上に互に隣接させて建込む各壁パネルの壁面が1つの面に揃い、仕上りの優美な壁パネル建込み施工を行なうことができるという効果を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

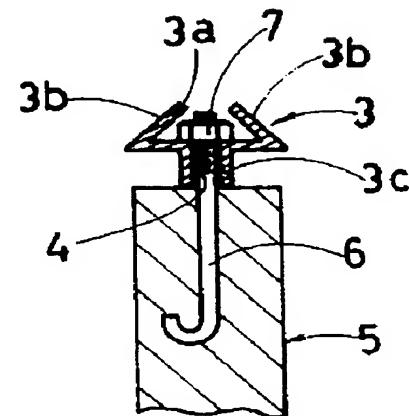
第1図はこの考案の一実施例を示す雌保合部材の壁パネルへの取付状態の側面図、第2図はその雄保合部材の基礎への取付状態を示す断面図、第3図はその組立状態を示す断面図である。

1 … 雌保合部材、1 a … 開口、1 b … 傾斜内面、1 c … 抜止用内向フランジ、2 … 壁パネル、3 … 雄保合部材、3 a … 開口、3 b … 傾斜側面、3 c … カラー部、4 … 穴、5 … 基礎、6 … アンカーボルト、7 … ナット

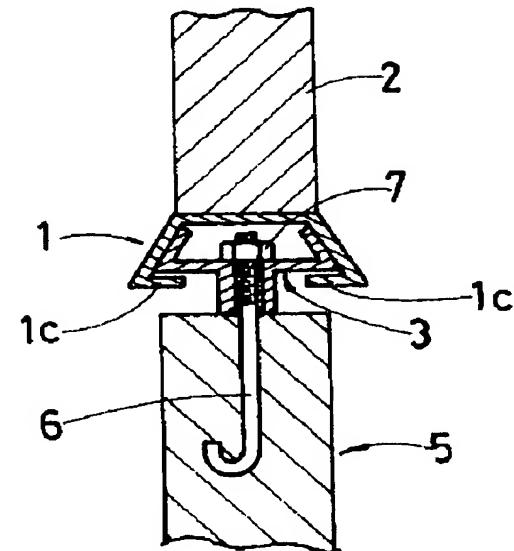
代理人 井理士 宮井暎夫



第 1 図



第 2 図



第 3 図